

# 納涼大会特集

7月27日(土)に盛大に開催されました、白鷺の街自治会の納涼大会を特集します。

## 白鷺だより



発行 令和元年八月  
責任者 関口 保  
編集 白鷺の街自治会



二年ぶりの納涼大会

会長 関口 保

長い梅雨がようやく明け、今年こそ二年ぶりの納涼大会と思った矢先にまた台風が接近の予報、実行を決断して準備を開始しました。

当日の朝は雨が降り出しましたが、のちには快晴となりました。風に弱い簡易テントは対策を講じて会場は完成しました。

三時よりは子供会のスイカ割りに大きな歓声が響き渡り、四時より各模擬店も営業開始、まもなく生バンドの演奏にノリノリの有志の歌声が響き渡りました。

六時には町長、議員の方々のご挨拶をいただき、鏡割りで酒を振る舞い、いよいよ盆踊りが始まりです。

休憩時間にはリハビリ体操有志の踊りやダンスが会場を盛り上げました。そしてお待ちかねの抽選会。今回は失格者はわずか一名だけで多くの会員の皆様が参加されたことに感謝いたします。

翌日の後片付けは大雨のち猛暑となり皆様には大変な思いをさせてしまい感謝の言葉しかありません。

さて来年は安心して納涼大会を挙行できますよう祈念し、会員の皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



船川町議会議員 関口会長 葉梨衆議院議員

司会を務めた小野相談役とバンド「ワンダフルワールド」の皆さん



今年初めて生活環境部長となり、ヨーヨーを担当致しました。ヨーヨーといえば子供相手が主ですので、今まで大人の私には関心のないものでした。それが今年担当となりましたので、場所のセッティングからヨーヨー作り、金銭受け渡しから子供達への対応と、思った以上に大変なものでした。しかしその分、多くの方々からご指導ご協力を頂き、喜びと感謝の気持ちと共にとても楽しい時を過ごす事が出来、私にとって夏の良い思い出となりました。皆様には心より感謝申し上げます。

生活環境部長 安達久美子



子供会では今年も玩具とポテトの販売で参加しました。台風の影響により風が強い中での販売でしたが、子供たちは商品やお金飛びながら、工夫をしながら、お店屋さんを張り切っていました。子供たちの頑張りにより、ポテト50カップは完売。玩具もたくさん買って頂くことができました。良い経験、思い出になったようです。

子供会



当日、朝から一時雨が降り、心配しましたが、午後からは天気恵まれ楽しい納涼大会でした。ただ残念なのは、他の納涼大会と重なり、来客が少なく焼き鳥の売上げが伸び悩んだことです。来年は頑張りたいと思います。

ホワイトホース



かき氷やさん繁盛記

イチゴ味！と小さな声で、恥ずかしそうに引換券を差し出す女の子。中学生ぐらいの男の子は数人で、楽しそうに話しかけてくる。

浴衣を着た娘さんは、小さい頃の面影を残していて、思わず「○○ちゃん」と声をかける。足元を気遣いながらのご老人、留守居役のご主人に持ち帰るといふ優しい友人：と、次々来店。凡そ200カップの数だけ会話を楽しんだことになりました。売上げは自慢にならない程のもですが、多くの触れ合いの機会でもありました。

広報部長 伊藤 久二子



今年も台風到来、と思われたが進路が多少それた為、納涼大会の開催決定。当日はテント張り、机・イスを運び、売店の飾り付け、提灯付け等々を進め準備完了。

定刻の午後四時には販売開始し、しらすぎクラブは例年通り、朝早くから評判の良い美味しいおでんを作り、赤飯との二品目を売店通りの中央で販売する。早々に行列ができ女性達は大わらわ。一部男性も手伝うが助っ人になったか否か。

昨年は納涼大会が中止だったせいか、今年の売店先にはどこもお客さんが多いような気がする。我がクラブは時には楽しく踊りの輪に入りながらも、早々に完売し安堵する。そして一日を終えた。

来年も又、楽しい納涼大会にと話しを交わし、全員が帰路についた。お祭り万歳、お疲れ様でした。

しらすぎクラブ 和田 満



近年稀な酷暑の中、二年振りの納涼大会を無事に終えられて、自治会役員の皆様、各同好会の皆様、班長副班長の皆様、準備片付けに参加された有志の皆様、来祭された皆様お疲れさまでした。

ソフト同好会ではフランクフルトと綿あめの販売を行いました。例年より客足が少なくないように見受けられました。綿あめは人気の様で列が途切れませんでした。フランクフルトについても早々の完売となりありがとうございました。特に問題もなく終えられて良かったです。

個人的には、(チラホラと聞こえてましたが)ビンゴ大会がなかったのが残念でした。来年の開催に関わる皆様も大変でしょうが交流手段の一つですので頑張ってください。

ソフトボール同好会 森田美樹

担当は、神輿、山車、来客接待、寄付者の名前張り出し。約十年ぶり？に納涼大会企画に参加。役員と相談役の緻密な準備に驚嘆。率先して「ふんどし(持っていない)を締めて」と意気込むが、ついてゆくのがやっと。神輿の準備。担ぎ棒のさらし巻きで多田さんの繊細な巻き方に驚嘆。私に？無理難題。

山車。組立時にボルトが合わず、強引に組み終わった時、柱の向きが違うのに気が付いた。やり直し！でも雨の中、もういやだ。全員なかよく一致団結大妥協、そのまんま子供たちと元氣よく団地内を練り引き、午後解体。お祭り男と女があと二人ほしかった。

神輿の布川神社奉納。雨の中、神社到着が一番乗り。が、後から来た神輿は全てビニールで雨よけ。ずぶ濡れは我が団地のみ。伝統の昔はビニールなど無かった！と空威張り。見回すと殆どの神輿担ぎ手は殆ど高齢者。若人スポンジ化は、利根文化を危うくする？

文化体育部長 乾 健治



朝のうちは雨





総務部長 有賀 弘康

今年の納涼大会は午前中、時々雨がパラついて心配しながらの準備作業、しかし昼頃からは天気も回復し絶好の納涼大会となりました。  
総務部は鳥の唐揚げ担当として高橋相談役を先頭に一致団結しほぼ完売！お疲れ様でした。嬉しかったのは昨年の総務部長の柿井さんが応援にかけて頂き助かりました。  
皆さん本当にお疲れ様でした。

◇利根町の歴史から

江戸時代の俳人である小林一茶は、下総国の布川に強い愛着を抱いていました。当時の下総布川には、小林一茶の俳友であり、また援助者であった古田月船（げっせん）が住んでいました。  
小林一茶は、回船問屋を営んでいた月船の邸宅を頻繁に訪れていました。

当時の下総布川には、布川街道が通り、関所もあったことから大変にぎやかな場所であったことがうかがえます。  
現在、竜ヶ崎市で行われているつく舞いが、江戸時代の布川神社の祭礼で実施されてきました。赤松宗旦の「利根川図誌」には、当時の祭礼のにぎわいにつく舞いが描かれています。  
一茶が布川で詠んだ人間賛歌の句をご紹介します。  
「赤子から うけならわすや夜の露」文化元年（一八〇四年）の九月十五日に、乞食（こっじき）たちが、子供のお七夜のお祝いに、酒盛りをしていました。宴を見た一茶は、財がなければ、盗人や火災の心配もない自由な姿に感銘を受けたのです。

一三班二二七号 佐藤高市

9月

- 9/7 (土) 第2回 役員会・第3回代表者会
- 9/14(土) 九団地親善スポーツ大会
- 9/29(日) お誕生会

10月

- 日程未定 自治会グラウンドゴルフ大会
- 赤い羽根募金

11月

- 11/9 (土) 第3回 役員会・第4回代表者会
- 11/17(日) 団地内大掃除 防災訓練

12月

- 12/8 (日) 豚汁会
- 歳末助け合い募金



自治会活動予定

編集後記

今号は納涼大会特集号でした。掲載する写真を選んでみると、本当に皆さんの表情が生き生きとしており、見ていると元気が湧いてきます。見入ってしまった、ふと気が付くと広報の編集が全然進んでいない、なんてことになって困ってしまいました。



しらさぎ伝言板

▼転出

5月

九班 三一一号

新井 滄吉 さん

8月

一七班 二五八号

小野寺 昭夫 さん

お元気で！